

シンフォニー

# Symphony



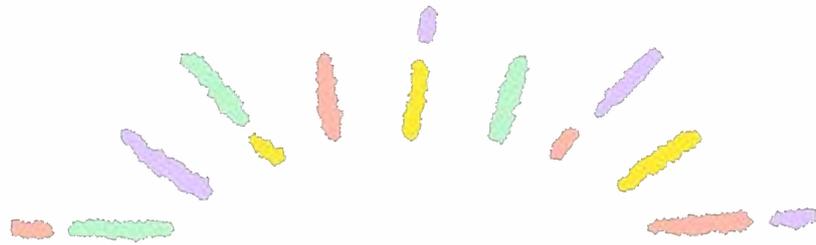
夢と希望のもてる

誰もが住みやすい

社会との架け橋を築く



社会福祉法人 横浜市社会事業協会



## も く じ

ご挨拶	．．．．．	P 1
新入職員決意表明	．．．．．	P 2
特集～法人本部～	．．．．．	P 4
特集～駅伝部活動報告～	．．．．．	P 6
令和5年度事業報告、決算書	．．．．．	P 8
令和6年度事業計画、資金収支予算書	．．	P 12





## ご挨拶

社会福祉法人 横浜市社会事業協会  
理事長 佐々木寛志

新年おめでとうございます

ご利用者をはじめ皆さまのご多幸を心よりお祈り申し上げます。

年の初めに、当法人のホームページを開いていただくと、「夢と希望のもてる誰もが住みやすい社会との架け橋を築く」という法人の『経営理念』が出てきます。当法人を志望する皆さんの作文にも、志望動機としてこの文言がときどき使われています。続いて、『基本理念』のところには、5項目の「行動指針」、さらに75項目に及ぶ「倫理綱領」があります。

この「行動指針」と「倫理綱領」は2021年に刷新したのですが、それに携わったのは職員のプロジェクト・チーム。メンバーは、法人の身体障害、精神障害、生活保護の各分野及び本部事務局の計4名。介護福祉士、精神保健福祉士、あるいは社会福祉士の資格をもち、福祉の現場で働く人たちです。4カ月の時間をかけて、文案から構成までみんなで議論し、修正を重ね成案に至ったものです。

メンバーたちは、日々の仕事とは異なる作業の中で、福祉の仕事の基本になるものを改めて考え、日ごろの実践を振り返る機会となったようです。社会福祉法人の職員として、また社会人としても、良い経験だったと思われます。もし何かの折に「コンプライアンスって何だろう」と思うことがあれば、これを読み返していただくのも良いかと思ひます。

いま当法人では、職員の確保、育成、定着に力を注いでいます。目標は、〈新人が2年、3年と職場で経験を積み、数年後には次の新人の良き先輩・育成者となること〉、〈入職時期や年齢を問わず、職員のだれもが自分の力量を十分に活かして、職場で欠かせぬ働き手となること〉、〈パートタイム・嘱託を含むすべての職員が、法人の制度も活用しつつ、資格取得などレベルアップを図ること〉、さらに〈指導役、専門職あるいは管理者として事業所の中核となって能力を発揮すること〉などです。

他方、法人としては、〈職員それぞれのライフステージに応じた働き方やキャリアパスの仕組みが整っていること〉、〈職員の経験・スキル、業務内容・業績を反映した公平な処遇が図られていること〉などを目指しています。

現実の課題は数多くありますが、画餅とならないよう、目標に向けて一歩、二歩と進んで行きたいと思ひます。

現在、当法人の事業所は20か所です。新しい年を迎え、各事業所で引き続きご利用者に良好なサービスを提供して皆さまのお役に立ち、あわせて職員の働きがいをも高める取り組みを積み重ね、財務の健全性を維持しながら社会福祉法人としての使命を果たしていきたくて思ひます。

本年もよろしくお祈り申し上げます。



# 2024 新入職員



岩城 里香 横浜市中央浩生館 入所支援課

「一つひとつの出会いを大切に進んでいく」

コメント：

出会いは一期一会。今、この瞬間を大切にしていこう。



宮田 はるの よこはまりバーサイド泉 入所支援課

「対話と変化」

コメント：

支援を通じてご利用者に良い変化を与えられる存在になろう。



古屋野 駿 横浜市鶴見区生活支援センター

「自分に負けずに挑み続ける」

コメント：

立ちどかる壁を自分らしく乗り越えていこう。



山口 愛友 よこはまりバーサイド泉 入所支援課

「興味を持ち考え続ける」

コメント：

小さな気づきを、大きな成長に繋げていこう。



山川 夏保理 居宅サポート・リバーサイド泉  
居宅介護担当

「明るく元気に誠実に」

コメント：

持ち前の明るさで周りを照らし続けよう。



漆原 裕大 よこはまりバーサイド泉 入所支援課

「関わり」

コメント：

何気ない日々の関わりを大切にしていこう。

# 決意表明

氏名 所属  
決意表明  
人事課からのコメント



小林 さくら よこはまりバーサイド泉 入所支援課

「思考と行動」

コメント：  
常にご利用者のことを想って行動しよう。



中村 愛美 居宅サポート・リバーサイド泉  
グループホームゆい担当

「向き合い続ける」

コメント：  
向き合い続けることを忘れずに、この先の成長に繋げていこう。



中田 歩夢 よこはまりバーサイド泉 入所支援課

「志事、傍楽、考動（しごと、はたらく、こうどう）」

コメント：  
フレッシュさを武器に、職場に新しい風を吹かせよう。



野谷 健太 よこはまりバーサイド泉Ⅱ光梨

「第三者視点」

コメント：  
周囲の意見を取り入れて、自分らしい支援を見つけよう。



徳尾 真耶 よこはまりバーサイド泉 入所支援課

「考え続ける姿勢を大切に」

コメント：  
ご利用者にとって、より良い支援を考え続けよう。



高橋 千秋 横浜市中央浩生館 地域支援課  
うるおい南

「和」

コメント：  
明るく、和やかな雰囲気でご利用者に関わろう。



# 法人本部事務局

## ってどんなところ？

辻川彰

### 総務課

経理・給与・勤怠・労務など、法人の基幹的な事務業務を担っています。職員は皆事務のプロフェッショナルです。経理業務は一般に福祉簿記は難解だと言われておりますが、顧問税理士法人の助言のもと、経験を積みスキルを上げてきた結果、会計コンプライアンスの強化にも繋がっています。

一方、給与事務も大きな仕事です。給与事務は誤りが許されないため、職員は細心の注意を払って業務に取り組んでおります。

### 人事課

職員の採用・定着支援を担当しています。採用シーンでは、人事課職員はまさに法人の「顔」です。特に力を入れている新卒採用では、多くの学生さんと会いながら、ご縁のあった学生さんと信頼関係を作っていく、採用内定から入職に至るまでの間、内定者が不安を感じることがないようにサポートしております。また、採用後も1年目の職員とは定期的にコミュニケーションを取りながら、社会人生活が順調に軌道に乗れるようにサポートしております。

## どこにあるの？

法人本部事務局は、横浜市営地下鉄中田駅近くの賃貸ビル「中田町センタービル」の2階にあります。エレベーターホール近くの202号室を総務課・人事課が、奥側の201号室を就労継続支援A型事業所アテインが使用しております。

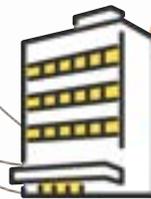
中田町センタービルは、地下鉄中田駅の4番出口からは約30m、雨天時でもほとんど濡れることなく出勤できます。そして1階は大手コンビニが入居しており、こちらも雨天時でもほぼ濡れることなくお昼ご飯を買うことができます（「ほぼ」と付けたのは、一瞬ビルの外に出る必要があるからです）。そして、法人の19か所の事業所中12か所の事業所に地下鉄1本でアクセスできるので、各事業所との行き来もスムーズです。

### アテイン（就労継続支援A型事業所）

定員10名の就労継続支援A型事業所として、清掃業務・印刷業務・法人の庶務業務等を担っております。清掃はリバーサイド泉にて共有スペースの掃除を実施しています。印刷業務は、法人で使用する名刺・広報誌・年賀状などの印刷物に加えて、行政機関や福祉関係の職能団体、近隣の町内会など法人外部のお客様からも、たくさんのご依頼を頂いております。

### 地下鉄中田駅

### 法人本部



## 番外編 ランチ



ランチは弁当派、コンビニ派が大半で、自席で食べる職員がほとんどです。外食する場合は、徒歩5分くらいの範囲に、イタリアン、蕎麦、ラーメン、回転ずし、中華など、店舗数は多くはないものの、色々な種類の飲食店があります。そんな中華者がよく行くのが、インド料理店です。私のお勧めは、チキンカレーの激辛です。激辛となっておりますが、じわっと汗がでるくらいの辛さで、特に暑い真夏に食べると、気合が入ります。若手職員のお気に入りにはバターチキンカレーです。このお店のバターチキンカレーは、まろやかで濃厚なカレーでナンとの相性ピッタリなのだそう。そのナンは、運ばれてきたときにその大きさに驚きます。ふっくらとして少し甘みを感じるくせになる美味しさです。

# 総務課とアテイン 事務所の様子

いつもは一人で  
ときにチームで  
法人を支えて  
います

## 総務課 工夫いろいろ①



総務課常勤職員は、  
事務に集中できるように、  
他職員に対して背中を向けるようなデスク配置で、  
パーティションによる仕切を設けております。  
しかし、打ち合わせが必要な時もあります。  
そんな時は椅子ごと振り向くと打ち合わせ仕様となる作りとなっております。



パート職員は横並びデスクの出入り口近くが定位置です。来客も多く、受付対応に備えながらの業務です。

人事課の3人はいわゆる「ノマドワーカー」です。定位置は横並びデスクの奥側2つですが、3人揃うとデスクが不足するので、そんな時はテレワーク等で不在の総務課職員のデスクや201号室のアテインで仕事をします。

奥の2つの席は  
人事課3名で  
使っています

## 総務課 工夫いろいろ②



パーティションで  
仕切っています。  
一人1台パソコン  
を使っています。

## アテイン 工夫いろいろ③



アテインは、印刷機、製本機、折り機などの印刷に関連する機械類が並んでいます。

受注が重なる時は、印刷機はフル稼働です。折り機は大きな音を発するため、隣にいる職員の話が聞き取りづらい時もあります。

事務デスクは、障害当事者への合理的配慮として、パーティションによる仕切を設けています。

# Team Ekiden Since 2019

## ～ 駅伝部の活動～

事務局長 妻鳥 一富

年の初めには実業団、大学の駅伝競走のテレビ中継があります。

会社、学校の名前が入ったユニフォームを着てチームメートとたすきをつなぎ、沿道の人から応援を受ける、なんとも魅力的な競技です。

自分もやってみたいと法人内の有志を募り、地元の泉区駅伝大会（泉区体育協会主催、2019年2月）に参加したのが駅伝部の始まりです。

法人では様々なスポーツや文化活動を通じて、仕事以外でも事業所を越えた職員交流が図れるよう部活動の助成制度を用意しています。駅伝部はその第1号となりました。バドミントン、自転車、ボウリング、バスケットボールと腕に覚えのある職員もたくさんいます。いつの日か社会人リーグに進出する日もくるのではと野望を抱いています。

泉区駅伝大会には翌年も出場しました。総勢13人（男子2チーム、女子1チーム）で上位入賞を目指しましたが、他チームとのレベルの差に圧倒されました。結果はともかく地元に複数の事業所、大勢のご利用者を有する法人として社名をアピールする良い機会でした。誰が手配したのか報知新聞社の「泉区駅伝大会記念号外」が発行され、私たちも紙面を飾りました。良い思い出です。

出場を継続して順位を上げていこうと考えていましたが、コロナ禍となり活動はしばらく休止に。2022年春、FMヨコハマ主催の大会があると聞き即座に参加を決めました。みなとみらいを走れるおしゃれな大会で、赤レンガパークを中継地点にハーフマラソンの距離を周回します。本職アウンサーの実況、応援を聞きながら、観光客の見守る中を走るのは得難い経験となりました。2023年は1時間51分（127位）、2024年は1時間41分（111位）とまぶまぶの記録です。ほかにも草大会はいろいろあって、次は国立競技場を走れる大会もあると考えています。駅伝だけでなく他の部活動も活発になって、職員の交流が広がらばうれしいです。あきらめず声掛けを続けていきます。



# 部員の皆さんに インタビュー



土屋 航さん

リバーサイド泉地域支援課



- ①家のことをこなしているうちに時間が過ぎてしまうため、時間ができた時に1人でも取り組める内容で体を動かすようにしています。
- ②大会の雰囲気に乗せられて、普段以上にいいペースで走ることができたり、メンバーと励まし合うことができ、楽しく大会に参加することができます。
- ③ひとつのきっかけとして、皆さんも参加して下さるのをお待ちしております！

甲田 祐樹さん

横浜市多機能型拠点こまち



- ①休日にランニングしたりジムに行っています。
- ②駅伝に参加するまでは運動する習慣がありませんでしたが、駅伝に参加する目標が出来てから走る習慣が付き今でも変わらずランニングしています。最近健康を意識するようになり食生活も変化しました。
- ③興味のある方は是非お待ちしております！

岩元 優さん

横浜中央浩生館



- ①意識して取り組んではいませんが、週1回サッカーかフットサルをしております。2年目になり社会人生活に慣れてきたため、ジムに通おうと思っております。
- ②マラソンが終了して1時間かからず筋肉痛になりました。思った以上に体が動かず、運動不足を痛感する1日でしたが、体を動かすことは好きなので楽しめました。
- ③現在、フットサル部を作りたいと考えており、人数も複数人確保しております。興味がある方がいましたら中央浩生館の岩元までお声掛け下さい。



- ①大会に向けて日頃からのどのような活動をされていますか？
- ②大会に参加してみても感想を聞かせてください
- ③伝えたいことがあれば是非！！



小林 信一さん

リバーサイド泉II光梨



- ①その日の体調にもよりますが、休みの日は朝食前に走るようにしています。脂肪燃焼には朝食前に走るのが良いみたいです。
- ②これまで泉区の駅伝大会とFMよこはま主催の大会に参加しましたが、大会に参加することで、当法人の他事業所の職員と交流することも出来る、いい機会だと思います。年々参加チームも増えてきています。その中でも上位に行けるように頑張りたいと思っています！
- ③走り始めて健康になりました。(体感)

土屋 舞さん

リバーサイド泉II光梨



- ①明確に大会に向けてではないのですが、日ごろから運動をすることは好きで、趣味のバドミントンをしたり、フィットネスジムに通ったり、今年からボクシングに通っています(ライト層です)走ることは苦手ですが、動き回っているので体力だけはあると思っています(自称)
- ②大会後は疲れて次の世代に今後は託そう思っているのですが、チームで出場できること、チームで励まし合って完走することが出来るのがとても心地よく、他の事業所の職員とも交流できるいい機会です、ナンダカンダ毎年出てまいります。
- ③身体を動かすって、心にも体にも良いですよ。職場での日々のモヤモヤ等一緒に吹き飛ばしませんか？ あ、ツーリング部も作りたと思っています。





# 令和 5 年度事業報告・決算書



## 令和 5 年度事業報告(抜粋)

### 重点目標に対しての達成状況

1. 職員一人ひとりが働きやすい職場環境の構築
  - (ア) 夏季休暇・リフレッシュ休暇の制度定着を図った。リフレッシュ休暇は、計 13 人が取得し、うち 5 人は 15 連休以上の長期休暇を取得した。
  - (イ) 出生時育児休業制度(産後パパ育休)の制度利用促進を行った。
2. 法人本部の機能強化  
本部事務局の経理部門を拡充し、居宅サポート・リバーサイド泉、グループホームゆい、グループホームサンライズの経理事務を本部事務局に移管した。
3. コンプライアンス経営の強化
  - (ア) 内部通報制度が適切に機能するよう、職員への制度周知を進めた。
  - (イ) 法人研修を通じて、職員へのコンプライアンス経営の教育を行った。
4. 職員採用・定着支援の強化
  - (ア) 職員採用では、目標の 12 人を上回る 13 人の新卒者の採用に至った。
  - (イ) 高卒採用は、1 人の新卒者を採用することができた。
  - (ウ) 社会福祉士等養成校からの受け入れた実習生のうち 2 人が採用に結びついた。
  - (エ) 新卒の新採用職員に対して、きめ細やかな定着支援を行った。
5. 健康経営の推進
  - (ア) 昨年度に引き続き、歩くことによる健康づくりを勧奨した。
  - (イ) カウンセリング相談窓口の受付時間の延長、利用可能回数を拡充した。
  - (ウ) 令和 6 年度横浜市健康経営認証 AAA を取得した(2 年間有効)。
  - (エ) クラブ活動は、駅伝部メンバーが FM ヨコハママラソンに出場した。
6. 法人内部での情報アクセス・情報発信の強化  
諸手続きの方法等について、事務職パートタイム職員の情報アクセスを向上させた。
7. 災害への備えの強化
  - (ア) BCP に基づき、9 月 26 日に法人全体の防災訓練を実施した。
  - (イ) 前年度に登録した職員 1 名を能登半島地震への神奈川 DWAT に派遣、金沢市内の 1.5 次避難所で被災者の支援活動を行った。
8. 事務方のテレワークの推進  
テレワークに必要な環境を整え、計画的に実施した。
9. セキュリティ機器・ネットワーク機器の刷新  
UTM (統合脅威管理)、VPN ルーター等を刷新した。
10. ランサムウェア対策の推進  
バックアップデータを暗号化し、遠隔地に自動的に保管する仕組みを構築した。

# 法人単位資金収支計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	0165 介護保険事業収入	250,661,000	249,709,417	951,583
		0274 指定管理料収入	252,333,000	259,812,792	-7,479,792
		0183 就労支援事業収入	55,528,000	39,829,345	15,698,655
		0184 障害福祉サービス等事業収入	1,967,816,000	1,874,042,699	93,773,301
		0188 生活保護事業収入	161,010,000	159,768,341	1,241,659
		0192 医療事業収入	93,171,000	76,670,715	16,500,285
		0195 その他の事業収入	600,000	629,850	-29,850
		0199 経常経費寄附金収入	0	24,235	-24,235
		0200 受取利息配当金収入	2,185,120	2,049,387	135,733
		0201 その他の収入	14,402,000	34,697,954	-20,295,954
		事業活動収入計(1)	2,797,706,120	2,697,234,735	100,471,385
	支出	0129 人件費支出	1,964,331,000	1,939,657,820	24,673,180
		0130 事業費支出	223,986,000	214,877,586	9,108,414
		0131 事務費支出	412,420,000	384,492,949	27,927,051
		0132 就労支援事業支出	52,800,000	54,833,014	-2,033,014
		0135 その他の支出	1,258,000	1,008,000	250,000
		0137 支払利息支出	380,000	367,990	12,010
		0138 その他の支出	4,496,000	4,676,940	-180,940
		0140 流動資産評価損等による資金減少額	0	65,360	-65,360
事業活動支出計(2)	2,659,671,000	2,599,979,659	59,691,341		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	138,035,120	97,255,076	40,780,044		
施設整備等による収支	収入	0204 施設整備等補助金収入	2,900,000	3,296,000	-396,000
		施設整備等収入計(4)	2,900,000	3,296,000	-396,000
	支出	0143 設備資金借入金元金償還支出	7,520,000	7,520,000	0
		0144 固定資産取得支出	17,204,000	21,578,772	-4,374,772
		0145 固定資産除却・廃棄支出	100,000	0	100,000
		0146 ファイナンス・リース債務の返済支出	40,782,000	38,023,363	2,758,637
		施設整備等支出計(5)	65,606,000	67,122,135	-1,516,135
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-62,706,000	-63,826,135	1,120,135		
その他の活動による収支	収入	0214 積立資産取崩収入	130,000	59,853,011	-59,723,011
		0216 拠点区分間長期借入金収入	5,500,000	0	5,500,000
		0224 その他の活動による収入	80,000	0	80,000
		その他の活動による収入計(7)	5,710,000	59,853,011	-54,143,011
	支出	0149 長期運営資金借入金元金償還支出	20,900,000	20,900,000	0
		0152 積立資産支出	30,580,000	84,858,127	-54,278,127
		0154 拠点区分間長期貸付金支出	5,500,000	0	5,500,000
		その他の活動支出計(8)	56,980,000	105,758,127	-48,778,127
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-51,270,000	-45,905,116	-5,364,884
		予備費支出(10)	0	—	0
		0			
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	24,059,120	-12,476,175	36,535,295	
	前期末支払資金残高(12)	0	861,075,402	-861,075,402	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	24,059,120	848,599,227	-824,540,107	

# 法人単位事業活動計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	0056 介護保険事業収益	249,709,417	232,935,869	16,773,548
		0256 指定管理料収益	259,812,792	351,974,499	-92,161,707
		0074 就労支援事業収益	39,829,345	33,354,404	6,474,941
		0075 障害福祉サービス等事業収益	1,874,042,699	1,843,812,557	30,230,142
		0079 生活保護事業収益	159,768,341	12,150,621	147,617,720
		0083 医療事業収益	76,670,715	66,339,862	10,330,853
		0086 その他の事業収益	629,850	595,550	34,300
		0089 経常経費寄附金収益	24,235	0	24,235
	サービス活動収益計(1)	2,660,487,394	2,541,163,362	119,324,032	
	費用	0015 人件費	1,959,419,567	1,868,822,594	90,596,973
		0016 事業費	214,901,914	209,228,891	5,673,023
		0017 事務費	384,492,949	376,604,683	7,888,266
		0018 就労支援事業費用	54,833,014	45,256,582	9,576,432
		0027 減価償却費	114,573,437	119,139,080	-4,565,643
0028 国庫補助金等特別積立金取崩額		-39,016,364	-41,478,514	2,462,150	
0029 徴収不能額		65,360	0	65,360	
サービス活動費用計(2)	2,689,269,877	2,577,573,316	111,696,561		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-28,782,483	-36,409,954	7,627,471		
サービス活動外増減の部	収益	0093 受取利息配当金収益	2,049,387	1,861,732	187,655
		0098 その他のサービス活動外収益	34,697,954	38,167,754	-3,469,800
		サービス活動外収益計(4)	36,747,341	40,029,486	-3,282,145
	費用	0033 支払利息	367,990	515,505	-147,515
		0038 その他のサービス活動外費用	4,676,940	9,173,313	-4,496,373
		サービス活動外費用計(5)	5,044,930	9,688,818	-4,643,888
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	31,702,411	30,340,668	1,361,743		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	2,919,928	-6,069,286	8,989,214		
特別増減の部	収益	0100 施設整備等補助金収益	3,296,000	1,000,000	2,296,000
		0103 固定資産受贈額	0	2,080,000	-2,080,000
		0104 固定資産売却益	0	228,520	-228,520
		特別収益計(8)	3,296,000	3,308,520	-12,520
	費用	0042 固定資産売却損・処分損	427,716	44,958	382,758
		0044 国庫補助金等特別積立金積立額	3,296,000	1,000,000	2,296,000
		特別費用計(9)	3,723,716	1,044,958	2,678,758
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-427,716	2,263,562	-2,691,278		
税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	2,492,212	-3,805,724	6,297,936		
法人税、住民税及び事業税(12)	0	0	0		
法人税等調整額(13)	0	0	0		
当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)	2,492,212	-3,805,724	6,297,936		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(15)	813,753,776	795,399,514	18,354,262	
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	816,245,988	791,593,790	24,652,198	
	基本金取崩額(17)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(18)	599,500	33,400,000	-32,800,500	
	その他の積立金積立額(19)	10,802,869	11,240,014	-437,145	
次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)	806,042,619	813,753,776	-7,711,157		





# 令和 6 年度事業計画・資金収支予算書



## 令和 6 年度事業計画(抜粋)

基本方針
<p>令和 6 年度は、法人新 10 年プランの 5 年目になる。新 10 年プランで示されている 4 つの柱「安全、安心して快適なサービスの提供」「地域への貢献、福祉ニーズへの対応」「経営の安定とサービスの向上」「人材の育成、働きやすい職場づくり」に即して、必要な対応を行う。</p>
重点目標
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員一人ひとりが働きやすい職場環境の構築</li> <li>2. 業務の電子化</li> <li>3. コンプライアンス経営の強化</li> <li>4. 職員採用・定着支援の強化</li> <li>5. 健康経営の推進</li> <li>6. 法人内部での情報アクセス・情報発信の強化</li> <li>7. 災害への備えの強化</li> <li>8. 情報発信の強化</li> </ol>
目標達成のための対応策
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員一人ひとりが働きやすい職場環境の構築               <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア)一般職の一次考課を原則係長職(現行の主任 I 職)の対応に変更する。</li> <li>(イ)正規職員の定年を 60 歳から 65 歳への引き上げを検討する。</li> <li>(ウ)将来に渡って持続可能な給与制度を検討する。</li> </ul> </li> <li>2. 一部業務の電子化               <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア)ペーパーレス化の取り組みとして、給与明細の発行を電子化する。</li> <li>(イ)年末調整手続きの電子化を行う。</li> </ul> </li> <li>3. コンプライアンス経営の強化               <p>コンプライアンス経営推進のための教育機会を強化する。</p> </li> <li>4. 職員採用・定着支援の強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア)新卒の新採用職員に対しては、きめ細やかな定着支援を行う。</li> <li>(イ)外国人介護人材の採用・定着に向けた情報収集を行う。</li> </ul> </li> <li>5. 健康経営の推進               <p>よこはまウォーキングポイントに参加し、歩くことによる健康づくりを勧奨する。</p> </li> <li>6. 災害への備えの強化               <p>福祉避難所を開設するケースを想定して、避難所運営の図上訓練を実施する。</p> </li> <li>7. 情報発信の強化               <p>法人ホームページをリニューアルし、法人からの情報発信を強化する。</p> </li> </ol>

# 資金収支次期当初予算

令和6年4月1日

(単位：円)

勘定科目		前年度予算額	当初予算額	増減		
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	250,661,000	265,219,000	14,558,000	
		指定管理料収入	252,333,000	265,393,000	13,060,000	
		就労支援事業収入	55,528,000	60,635,000	5,107,000	
		障害福祉サービス等事業収入	1,967,816,000	1,984,715,000	16,899,000	
		生活保護事業収入	161,010,000	166,300,000	5,290,000	
		医療事業収入	93,171,000	92,034,000	-1,137,000	
		その他の事業収入	600,000	700,000	100,000	
		受取利息配当金収入	2,185,120	2,306,120	121,000	
		その他の収入	14,402,000	16,284,000	1,882,000	
	事業活動収入計(1)	2,797,706,120	2,853,586,120	55,880,000		
	支出	人件費支出	1,964,331,000	2,024,899,000	60,568,000	
		事業費支出	223,986,000	230,078,000	6,092,000	
		事務費支出	412,420,000	414,058,000	1,638,000	
		就労支援事業支出	52,800,000	51,100,000	-1,700,000	
その他の支出		1,258,000	1,258,000	0		
支払利息支出		380,000	270,000	-110,000		
その他の支出		4,496,000	4,757,000	261,000		
事業活動支出計(2)	2,659,671,000	2,726,420,000	66,749,000			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		138,035,120	127,166,120	-10,869,000		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	2,900,000	1,000,000	-1,900,000	
		施設整備等収入計(4)	2,900,000	1,000,000	-1,900,000	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	7,520,000	7,520,000	0	
		固定資産取得支出	17,204,000	23,019,000	5,815,000	
		固定資産除却・廃棄支出	100,000	100,000	0	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	40,782,000	39,685,000	-1,097,000	
施設整備等支出計(5)	65,606,000	70,324,000	4,718,000			
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-62,706,000	-69,324,000	-6,618,000		
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	130,000	0	-130,000	
		拠点区分間長期借入金収入	5,500,000	16,000,000	10,500,000	
		その他の活動による収入	80,000	80,000	0	
		その他の活動による収入計(7)	5,710,000	16,080,000	10,370,000	
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	20,900,000	19,000,000	-1,900,000	
		積立資産支出	30,580,000	33,286,000	2,706,000	
		拠点区分間長期貸付金支出	5,500,000	16,000,000	10,500,000	
		その他の活動支出計(8)	56,980,000	68,286,000	11,306,000	
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-51,270,000	-52,206,000	-936,000
		予備費支出(10)		0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		24,059,120	5,636,120	-18,423,000		
前期末支払資金残高(12)		0	0	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)		24,059,120	5,636,120	-18,423,000		



シンフォニー 第28号

令和7年1月発行

発行元：社会福祉法人  
横浜市社会事業協会 法人本部事務局

横浜市泉区中田東 3-15-2  
中田町センタービル 202

印刷：就労継続支援A型事業アテイン